七月十日以降（三菱及び川崎爭議）

川崎の工場悉く職工の手に歸す

10.7.10

なりを靜めて示威運動の準備　役員技師の入場不能

川崎造船所職工は遂に完全に同工場を占領し九日午前は極めて平穏に三菱や兵庫分工場から繰出した示威行列の閧の聲が聞ゆる中にも工場の周圍を嚴重に警戒して

◇誘ひ込み

向き着せず夫々各工作部に集まり十日の大示威運動の準備に餘念がない、造船工作部では中村勇太郎、藤野太郎、村瀬倉助、淺野寺太郎、田中豐太郎、松岡勘の諸氏委員として書記に選任された、此際本社側は三宅外三重役と會見し職工等の要求條件に就き交渉を開始したが同部の職工約七千名は本社前に

◇殺到し

盛んに喧騒して居る又造機部は十一日、職工總部は十二日夫々同樣の要求を提出し會見交渉の筈だが技師其他の役員は職工に工場を占領されて居るので入場を危險なりとし一名も出入する者が無い、工場内では激烈なる演説をなす者あり又は

◇白と黒

の旗を掲げたり一隊の現れなどするので全川崎警察は同日から斷然たる態度を示して居る、十日の大示威運動を活動寫眞に撮り全國各勞働團體に巡回映寫を試みたり又全國各勞働團體にも飛ばして大勞働運動を宣傳する方針である（九日、神戸電報）

市内を練廻る長蛇の列

三菱全職工の示威行列

總ての示威運動で目的を達せんとする三菱造船所の全職工は九日朝同盟罷業に出で工場に入ると同時に職工の明き勞働歌を高唱し長旗を押立てゝ行進を開始し喊聲を擧げて外に出て同内燃機の全職工と合し同工場及び造船所の門の前に至り引返し三菱電氣の門を破らんとしたが制せられて引返し三菱ヶ原に集合の上長蛇の列を造って川崎分工場及び本社を歴訪し大倉山に赴き正午散會した（九日、神戸發）

當分日給五割增で

三菱電氣の怠業解決す

八日以來怠業状態を續けた神戸の三菱電氣株式會社職工代表委員等は九日午後一時賃金增額の要求書を提出すべく協議中會社側の回答案は正午幹部會議を開いた結果同日から日給五割增にすることに決し午後一時半此旨職工全部に對し發表したので代表委員は要求書を撤回し職工等は全部滿足して業務に就くこととなった（九日、神戸電報）

總勢八万

明日は大示威運動

7/10

協同一致大阪京都からも參加して神戸全市を練る

【神戸】十日の神戸に於ける大示威運動に就ては、京阪神各組合の總同盟聯合會西部聯合會では川崎、三菱兩造船所の職工に氣勢を添へる爲め十日神戸市中に大示威運動を開始する事に決した、參加組合は神戸東部、電氣、印刷工組合、其他川崎、三菱の各組合、飛行機製作工場の職工までも合して十日總員三万八千人、本部長は鈴木一氏が總指揮官となって、午前八時神戸會下山に集合、川崎三菱の各工場、友愛會本部を訪ふ筈であるが、友愛會の參加組合員一万八千、木村京都より又大阪の一万餘も參加して總勢八万餘に及ぶ（神戸電話）

川崎造船職工四萬人大示威

7.10

大勝旗を押立て殺氣立った昨日の神戸

神戸川崎三菱兩造船所の罷業職工は九日午前より會合集會の大デモンストレーションは殆ど全市を練り歩き兩所に總勢十萬の人波

▲勞働歌

工組合及び友愛會神戸聯合會の總勢

▲二萬五千

▲川崎造船所

川崎三菱の爭議を應援し

神戸市中を練込む

7.

五哩に亘る行列は

賀川氏赤襷を掛けて殿りを承る　然し極めて平穏に散會

【大阪電話】神戸に於ける勞働者の大示威運動は豫定の如く十日午前十時より開始された

八十團體

及び大阪からも

音樂隊の

三十餘名が

勞働歌を高唱し

角袖の巡査

分監跡に

勞働者五萬人

10.7.10

あげる神戸に

今度は川崎三菱に迫り示威大運動を決行

神戸勞働聯合會主催の示威大運動は愈々十日午前十時

▲三菱造船所

▲長蛇の列を

（神戸電話）